

## 第6分科会 第14回運営委員会記録(概要)

平成18年3月18日(土): 午後3時15分~4時30分

区役所第一庁舎 研修室:(進行)梶村副リーダー

### 1 参加委員(敬称略)

- ・区民委員:(1班)小宮一夫、入江雅子(2班)鈴木幸展、山本重幸(代)  
(3班)梶村勝利(4班)植木康次郎(5班)竹折冨美子(6班)上田尚子
- ・学識委員(三田、伊藤、土屋)

### 2 議事(概要)

#### (1) 中間発表資料を通しての、他分科会への意見・質問等について

##### (用語など)

- ・当資料には、同じ意味合いのものを、表現を変えて載せていることが多い。
- ・表現の重複については、第6分科会で中間発表前にある程度統一したので、(他分科会との間でも)すり合わせができるのではないかと。

##### (構成など)

- ・他分科会は、将来像や方向性よりも「実施計画」に落とすような、細かい議論になっており、まとまっていない。
- ・他分科会では議論が進んでいない(第6分科会は、第6分科会は何をやりたいのかを明確にし、ある程度「提言」様式になっているが、他はできていない)。
- ・中間発表会は経過の発表とお披露目であり、交流会も個人の動きであって分科会としての意見ではなかった。

##### (すり合わせについて)

- ・現実的な政策課題をどのようにシナリオにのせるのが重要である。
- ・他分科会と第6分科会の政策目標は同じではないかと。
- ・すり合わせしたとしても、残り6~7回でできるのか疑問。
- ・起草をするうちに「趣旨が大分違ってきた」という意見がある。(自分の言いたいことが、言葉が変わる(言葉が綺麗になる?)ことで本来、言いたかった意味が変わってしまう。)
- ・基本理念は残るが、文章はそれなりのかたちに変えざる得なくなる。
- ・各班にまとめてもらった意見・質問等については、いったん集約してから再度検討する。

#### (2) 最終提言にむけた、提言書のイメージについて

- ・世話人会はリーダー6人と残りは学識委員で構成されており、主に提言のイメージ作成や編集作業は(仮)起草調整部会が担当する。
- ・中間発表会のような作業は世話人会ではできないので、提言の方針を決めてから、別途中間発表会WGのような「ワーキンググループ」を作ることになりそうだ。
- ・世話人会の話の中で、提言書のイメージが各分科会でばらばらであると感じる。第6分科会は検討分野だが、他分科会の中には別にテーマで考えているところがある。

- ・最終提言を「テーマ」で分けるか、または分科会で分けるか。
- ・テーマによってボリュームの問題がでてくる。(50ページくらいになる)
- ・(中間発表会のときの)多文化共生、地域安全の内容もそぎ落とす必要性が出てくる。
- ・提言に至るまでの検討経過を資料として載せるのか。
- ・区民会議としての提言だから、プロセスまでを考慮に入れたい。
- ・中間資料でも200ページあり、最終段階では電話帳のように厚くなる。
- ・多くの区民に読んでいただけるには、それなりの限界がある。(何が一番言いたいのか。共感、理解できる限界。)
- ・第6分科会はエッセンス+資料で良いのではないか。
- ・どこまで区民会議として出すのか。(区民会議としての統一性か?第1~5分科会に合わせずに、第6分科会の方針を保つのか?)
- ・区民会議としての「思い」をどのように伝えるのかが、ポイントではないか。
- ・色刷りや見開きの地図、また量が増えたりすると、印刷業者の選定が「入札」になるため、提言の原稿締切が早くなる。
- ・第6分科会の“ツリー”(大項目、中項目、小項目)という考え方は、他分科会に理解されつつある。
- ・まだ、まとめ段階でない分科会では、体系の勉強から始めなければならず、6月までの提言作成に間に合わないのではないか。
- ・分科会によって、提言の認識の程度が違う。
- ・第1~第5分科会の意見が第6分科会にどのように反映されるのか?
- ・共通項目が多いため、面白みがない(新宿区の提案と同じになる)
- ・区民として良い提案ができない。
- ・他分科会は各班が突き進んでしまって、全体の調整ができない(していない)
- ・「10年後の姿」から改善策、基本構想を作り上げる。誰がやるんだ、という責務をはっきりさせる。みんなの心意気が提示されないと困る。
- ・提言は、書けるのであれば区民会議で作った「基本構想」であっても良い。
- ・10年後に「変わらなかった」では困る。シナリオをしっかりとする必要がある。
- ・10年後には資料編は使えない、という意見もある。
- ・20年前の新宿区に関するビデオを見てみると、歌舞伎町ルネッサンスと協働以外は変わっていない。

### (3) その他

- ・3月23日の区民会議と地区協議会の話し合いの結果は、4月1日の運営委員会報告。
- ・懇親会の取り扱いは。
- ・話し合い自体は6月第1週には終わる(残りの分科会はプレゼン練習)。17日は最終リハーサル(提言案も出来ている予定)。懇親会はその前後(今はそれどころではない)